伊地知文庫
文庫20
334
1

徘諧法華序

碩菴

伊地知氏書册

北越水原
隆磨藏

徘諧ハ面白キ事ハ有ル所奥
ふかく深くこゝろ入ル人ハ
まことにこゝろ有ル人ハ
じ道ニ入れ入ル世
乃ち忘れ忘れて行ふ者ハ
ふかきを山海ふかく遠ク
箕裘を振ひ連歌を
こゝろ徘諧をハ
な道とおもへ京師ハ

文庫20
334
1

ちさとにちあ
二条院の筑波
郎彩筑波ちを
と早下しちあ
筑波に連歌
大蔡大播大神人の
し御鞍を大連歌とし
義ちあ御神ちあ
御鞍し連歌のちあ
しちあ
河のことをし
いひ伝えと

白を御鞍ちあ
ちふなちあ御鞍
おちあ御鞍
む御鞍ちあ
名なわ大ちん
もと紀貫之古今の
ふへ伝ふ
ちあ
ちあ
く伝く
聖代を伝
ひとちあ

さるも此庵にちなみも在らるゝ
みなならも此道とらへて人々の所こゝを
さへゆゑてしんをとまつこゝし
しむるの種ま所のあひけし
後にふ年多ある律儀録
を称し此の門弟のためによ
此一帖をあつき誹を付そ
遊くさ聆らるゝ誹ものある
の風らの書にえらるゝ事
むかしよりさまのいろいろす
と梅の木のとしむかし人もむ
承へしれと出まりは懸安ゆゑん

誹式をもちて一座一句の拍
とは二句よりしめ七句ゆゑ
拍子は八句よる誹風の事
のためくまるて其誹諧
と一何もいふさ誹雅もあり
まあり和漢のうくあんふう
誹りふとのみわ気とひまり
其後らへいるゝたる誹人
まふく誹諧の誹式さんゆゑ
やまとも得んでいひまる
名と付るやと押とひめまる
後よんやよかりすふ名のしめ

そもそも清水寺とは観音の
ぜんこうの人をこうの
ぶんくいとくとは
なんぞ
ものこそ
あるらんとは
そもそも
そうの
ひろくあまねく
衆生
海住山寺
ちゅうこん
乃小性
今一人
ものこそ
あるらんと

さいわいをうけ
かなうやうに
ひろめとらへし
ものとは
ものこそ
人をみ
ものこそ
海さわぎ
神馬
海
乃宿の
乃ぶくじ
ひろれ
事と
神
海

俳諧古傘

伊

いかへ　連小一座一句乃
　　和る　れて謝よ
二句ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ
太古上古中古近古代古
今集なとの句も二句若
閑と云事一と法いかへと云
ふ通と所為と古近古人
古今古若古若古和古酒等の
歌いかへ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ
次二句　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ
ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ
上古乃古の字と古近古人

乃歌の始め多くとも古乃
字の間に三句を云しるく
乃乃乃て云始へし同云古と
集乃古の字をいひ〳〵へと
かゝる也古歌の古れ字をとし
始の字乃こゝろ清く多八仮
乃乃乃乃めをや者云古今
の二字ハ後成て〳〵集和俗
云時基後乃いひ〳〵今れと
との葉をとゝろ清ふ加
古歌ハ〳〵ん也あまと
ゝ云俗法よ加
し惟今家ゝきあらゝを
ゝ小云量乃古字付こ
ゝ事ある人今れと清し格
む〳〵小形をゝ清るとあり
し濫ハ面を始あし

唐 いゝきいゝ作ひ
人をゝといゝくゝゝ
二もあゝいゝ〳〵二つを
ゝへゝ可濫ハ和をゝへて
唐号唐家ゝ清ゝ清ゝ
いゝく今きあゝるゝ

儀 二つ今一名仮ハあゝを
|

池 毎一名所ゝ一濫ゝ
池二名仮ハ一ゝ三ゝ
池名ゝ清ゝ清ゝ
も三句乃間し長熟池功徳
池名ゝも三句乃間し仮
乃池一乃間し池乃尼浦池乃

[illegible]

命

[illegible]

一説に人の寿命を命絶えしとふなりてこと
人名命の二字用ひ命に玉
乃於物を言ふ出乃為よ
ハ玉乃を二句ちこと意の為
ちくい意乃玉の於ちへ今ち
ち命ハ速情ちなわ

稲葉

[illegible]

三乃外ちいる[illegible]ハ秋よ
ちち可電乃字ふちち有
小い祢ち二句ちこ稲書ち
いいる光物を塩ちち美濃乃
いるち山稲田姫稲荷の
姫よちち乃稲乃字物を
書ちち又一ちへ[illegible]
句も物乃稲よのち字
毎ちち稲三乃内ちぬし
稲書も同稲よ中付句
塩ち稲平ちといんしいち貌
ちハ姫ちちうち人稲ち稲
三乃内ちちち[illegible]稲
乃字ち姫ちちちの人名古代ち
く去塩ちちちこ

伊勢乃神といへる名不
神くいひくハ名一和よ能と
名神名伝よ能ともハし額
るわと奈ゝ奈ゝ物ゝ おきり
宮あやまりわ名伝あり
をたよ奈し 伊勢の神と
をあらてゝ名神と又一わをう
名くゝゝへし 能治ゝも天
照神とあらゝゝや天照
太神ゝハゝへゝ寸ゝ奈ゝと
いゝへし 伊勢ゝゝ国乃名
あわしもわをへいを能殺
又人奈名の伊勢るいせの流
いを海むいせめゝ益いを天月
乃殺乃国おゝらゝ今をを
乃ゝ名ゝへゝ寸ゝ
いをゝさの宮ゝ ゝゝく奈ゝを
ゝへゝ寸わ
をゝくかゝ奈ゝ乃奈院ゝを
ゝへし 竹乃ゝ名ゝをわゝを奈
ゝをゝへゝ寸奈奈のゝ
ゝさのゝをしあゝハも名奈院
ゝ奈ゝ奈ゝ名ゝも奈院をも奈
もかゝゝさの奈と續ゝ
いせゝ奈奈と海ゝれぬゝ
かゝへしをの竹乃ゝをわく一
奈奈のゝさのゝをゝひか
ゝわをへゝく奈ゝを奈院
ゝ能ゝ海ゝく名ゝかゝ今一
ゝを能ゝさのゝをゝ奈奈

乃事に御ゑしを無流くへ
ゑ入うしすいせのいろさの高竹
乃文といはまに御くも一わくん
抜ゑ無をとゑ無をとゑん
をへうすすいいはいさのゑゑゑ
ゑうわゑく伊勢を加茂流
ゑまに次も物をへく無流
無宮無主の内今一ゑへし
入いせのいろさの高竹の文無
宮無主とゑ物ゑいわすてる
法神ゑへうすゑをを
ゑわゑを川ゑいろさ乃ゑ
ゑとゑ物ゑ加茂の神
分雷の神ゑしくゑゑ
入竹の宮無主無文ゑく
宮武乃内神と合ゑのゑ

ゑれし材くもゑるかゑ
をゑうゑの事しくはしく分
別しく指合ゑはゑはく伊勢
新事ふゑゑる後し

岩

岩一巌一石一形をへて
あり御ゑの今一殺ゑよ
ゑんく事岩岩岩岩ゑと
ゑ組いゑくしと二もわい
ゑ伊ゑん二ゑへりし石も
せゑゑと殺ゑ法ゑるゑ
組石くと二もゑへしゑ
岩石ゑしくあしゑいもゑい
しゑも岩ゑへうすす
石亀石物も石二乃ゑらし
鉄炮乃石火失も石二の四
し名ゑ和妙石ゑ乃ゑも石二乃四

石称乃数ハ岩石三乃内たり
草の名ゆゑ岩ふし岩たけ
ハ岩三乃外にされとも岩よ
ハ面なるへ石よハ七句去様よ
る二句去とて草木ホくも岩ぢ
なくしこそとハ海ことの岩
よなるく人倫岩の岩千代
ホハきしとの岩之岩く次舟
も同前石摩も石二乃内也
石許石二乃外にされとも石
よハ面を去へ岩石よハ七句去へ
し然よハ二句去之石菖(しやうぶ)も同
前草乃名ゆゑ礎石(そせき)磁石
岩茸石斛(せきこく)ハ岩石二乃内たり
石と人石二乃外なり居雲
ハの物をく入岩よハ面去也

ふ入こと居所よ三句去也
居ハ山よハ二句之岩屋を
岩三乃外也細岩よハ打越を
きらひ石よハ面をきらふ居し
居所よ二句屋乃字ありと
三句之去様白砂ハ岩石ホ
り七句去こいらう義ハ居所
ホあらず細石様よきらへし
岩本ハ人倫よ為もへく
も為る義の枝細之草木ホハ二句
之石清水岩乃をさ海よりき
おる清水之石乃字とさかき
ていいらぬ濱之名よ石ホき
物をきらうる次面らると
嫌之石清水ハ先ハ八幡乃流
事之名所之逢坂の関より

もとの句に清水あるとかけ
て一座まて一句に清水
なりをうへく今一句をそこに清水
八幡宮とこの河をとこの句なるよ
わらすに岩橋の事一も言ふ
石の字なくもいと橋と
清水と連の俳諧の八つ橋
つの句のわまつに岩橋乃附
石乃字をとくわ抽とあ
執筆乃石字をいと橋一あら
しいと橋をへうに岩橋を
山鄙にわらすあるとうの
らさの岩とらに山鄙と水辺
まあらに岩山とあ〇あ毛
も岩三乃関と神祇と非
世無乃字をいと句をとるり

わ月の岩とに清水あるとうの句
なりの事と

敢生

神祇と八月十八夜乃
八幡乃祭とに敢生
川わくるとるり水をとるり
生敢に二句塩と生成とる
清とふ句敢生舎乃あるとる
らとなりをへいとも敢生舎
ともに敢生川ともをへうに寸
と敢生舎とふ句あら
となりをへくあ生とる
抽をとるけどとふ句をとる
乃連の一句乃抽をハ俳よ
二句をとるとくとるけ的く
不学乃俳諧乃発とうわ
乃乱事とあ二句をとる

さんハ淀まし[illegible]事を[illegible]准之
敷生川とくらハ[illegible]
[illegible]

家風 [illegible]の家の不化の代
[illegible]

[illegible]の風[illegible]
[illegible]二句[illegible]風[illegible]
[illegible]
[illegible]

家 連[illegible]
[illegible]

[illegible]

家[illegible] [illegible]の事[illegible]
[illegible]二句[illegible]
[illegible]

家と家 天[illegible]家[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

いろ[illegible]のみ[illegible] 又[illegible]屋根[illegible]
[illegible]
[illegible]

入れ　の乃字あるの字二句
ちし曉（あけ）蓬（よもぎ）と古人や
夕暮ふる雨ふるにふる夕乃字
ふるの乃字より蓬ふる

いなく　二句をとる句ふるの字
こいなくちらしひろへく
一清くふるし山と雪しこれい七句
ちし眺まのいなくこいなくちらい月
まの月今一ふへふるふ二句
乃句ふるいなくいなくこいなくちら
ふるふるふるふるといふふいふ
いんふんふ雲いひひひへくい
皆二句ふし入いひひひへとして
物しの物ふふふふるふの数い
ふふふふふふふいふふふふふふ
此発句ハ連作の三句目なり
ふ眺まの七句ふへし

いなくふ　一句乃句ふ眺ふふ
二句ふへふふ晩と
ふけふるにふふ雨ふふ乃句の泡
ふ二句ふし

ふくをん　ふふるふし結のふも
とふふ乃句まのいふふいふせん
と雲事ふふ乃句ふいふせん
百韵ふ一ふ物ふ眺ふ眺まのハふト
乃句ふけを雪く二ふへ
しふ乃中まのハ物ふへく
連ふふふふふふれふ眺ま
も今一ふふしふふふふふふふ
ふんふ乃ふふふふふふふふ

[illegible]

いく　幾乃字をとく幾へす
るになる幾いきくいく
[illegible]

折紙をかく

いくり　日次乃日りに二句をし
毎の月日れ字をくへ
きりをし

いくにいくり　連よ句をれく
[illegible]

偽よ海と　二句をし連り
偽は一座一句あり
[illegible]

生死よ　命二句をしまし
いき死とは[illegible]
[illegible]
[illegible]

之祖も二句去べし
いろは海ゑ〳〵　二句去え
まつ海ゝいろはも二句え　ぬるふう
稲妻(いなづま)　新しき部に天象よ
ハ不嫌植物りし云ん
きらふも次雷乃字ヲ入ハ面と
嫌部乃清月衣の清ゝ如く
よハ句去ゝく二句去え清月
雅に清ゝて歳清ゝ云ゆゑ
清月本来すハ一切不嫌ざく
清月の字をうけた稲清月ハ
人倫ふわゝ寸女雅ホの文字
りもきらふ也稲妻るゝく
夢よハ段のいろ何ゝ今一まさ
遠ゝ道も重きとハ嫌ふ
物ふ不わゝ寸いろ清月ゝく
きひらゝよハ物をうふ危し
いなびかり　雑之部ふ雷
よ面を嫌へし
天象りきらふ次光の字
よハ面を可嫌いろいゝつる
て雷電(らいでん)まへ入りゝ寸
衣裳乃文のなま　不嫌植物
物他衣て其名に二字三字
色ハ衣裳よ猫重柳のさき
ぬ色よふ云嫌ふ名〳〵し
衣ゝ色きをハ物〳〵植物よ
かろ寸しろふ路ゝ云ゝゝし
新式よ不載とも纏綿の
段とりよ云ぬの無字小とも

挿物といへるハ付合の道にある物の
名を衣も生類もあらゆる此
ことく式目をたて置ものし
発句を初めとして綴りおく
草木の下に茂る如き所
の挿物ハ二句嫌といふ説にて
是ハ次に挿物ある時とあり
去りとて又紅葉衣の草木
の下にある事を出す所なり
二句嫌ふ所にしてこそ通ふなり
首尾相通ひて雪一夜山の
私にハ是をいふ次結也風吹
の遠ちの人囲炉ことなく
千代かれ家通宗春句なり
うらつしにもここに出すべく
御座次衣乃衣を出すなる

ことなく付る道に付る道ぞし
新式をまもりて用ふるが能き
是代二句嫌といふ説ハ誤也
挿と知るべし無ふてもよし挿
物ありとも次にいふ如く秋の雑
乃ことにもあらず衣も挿物にして
あるとふ人もありしかれ
ハ挿物ハ雑をもつてなし誠の語
也ことに衣にて又催馬楽に
あれきやのまや乃あ雨り居
あさくむしとあり宮が名詞
をとりくもに句ハ居所よ
これをし次ふる物りも嫌
まさしいふ人あへし也
とへあ何まやようふ座
会のあり挫くなとふ句あく

し居所うへの梅へうす海
梅うへ之今梅の面ゆそ
いひ梅の句のうゆへし兎角
かゆ梅ふうくくうたのさ
里梅へ碧梅し一隙めて
不正不海わらそひをやめん
面めの活変るれし合点な
さへのおくい道理をも
活うあとうぬ武月乃ん
よけうる人梅うし遥をさた

稲遥

稲梅し遥をさた
ふやうよ稲乃面れ平
くくうた次さにうく
新ふ居所よめうす逃へ
三句のもしん乃月之和歌
ふ句合をうしてゐるし
ふうくうあうもあう稲
遥川うひ柳とよめるもを
柳のうひさうあういる遥の
面うる所とうすくうれな
らうし梅よう寸表成合し
四合をうくいふうへ梅
うへ成くし稲梅へ句海へ
し和歌へいる遥へ稲う
なうあうう連逃へうさやうの
面ゆう不入此へう形式し稲遥
稲梅くうう戒うへう
梅ふ成くしんあうへし

いさう

新ふしう遥之奥をさ
らんうくく史をう面
事し史よ七句うくくれも
いうう史をれも史文う面

面を垂れよ漁火と花まろ
いとうの火ろ[illegible]く行をうへく
漁火ろうへしけるかすの海
をとゆくをとゆ[illegible]と紅ゆくをと
あつこ紅ゆくも澄ゆくもたく
ゆへよあ付くく不苦あるまれた
ちきるれを海人不対
いろ雪 秋こ[illegible]をつ[illegible]ろ小雪
いろ雪を幼稚
有うこ無の字
付くもるるかす
いとけなし いとけなし
なるゆもち無乃字付句
無

天連小一あまて跳うて
唐大ろ[illegible]く殺よろく
今一ろへしこ海大も二表
閑し日ろん乃成へ行をうへく
今一ろこ[illegible]ろこ三
衣裳とく 三句ろ
いとさ沢 神祇こ神祭乃
おろ松竹都な
ろ紙ろ沢ろこ交ぜへ
初る日 約時ふり脱こ但
新敵ろ[illegible]へ 約時ふり
しこす
いとゆ 書い生数り二句
無今ろへこ[illegible]ろ

[illegible]

生田　[illegible]

泉　[illegible]

色　[illegible]

板間　[illegible]

市　[illegible]

[illegible]

るすこゝろを無き故式条に無禮
ゆへきらるゝハあるべき事
なるを草木の早苗にかは
りて付るを行く同じ
と云思の句縁よりゆく女
も昔かるべからず

いもせ　人倫に恋に継なりけれ
妹せなといふ名所あれ
妹乃山をの山武いもせ山など
とくも形を入べく今一
句にて続くも恋乃句なれ
なへしすゐも二まぬめと
しなくいふ句ハ形を出へ
みいとせよりもなるのいも
乃字を無き故より面を嫌て
いも乃字の一座に句数をり
なく三乃外ハなるべしもと
いもにいもしもへ面を嫌へ
し

いやしき男　述懐なりあり
と

今よ　なふ付句もくるし
うしすこん日と数のよ
よ嫌し今の字に二句去へ
し同字の吟といひなから
其さま幽なるとも二句
さりてハ不叶るなし表日よ
表とかよりわめるなし
続く二字に分割

いふよ　くろ恋ものなのと
乃て分乃字に二句去

儀式　はじめ　はじめ　はじめ　はじめ　はじめ　はじめ

稲荷の祭　二月上卯日

祭礼　祭礼　祭礼　祭礼

治

橘　橘　橘　橘　橘　橘

今一あらためし　橘　橘　橘　橘　橘　橘

藤

藤　藤　藤　藤　藤　藤

百官より国郡　藤　藤　藤　藤　藤　藤

藤原氏　藤　藤　藤　藤　藤　藤

藤原氏　藤　藤　藤　藤　藤　藤

一ハ藤　藤　藤　藤　藤　藤　藤　藤　藤　藤　藤　藤

人　藤　藤　藤　藤　藤　藤　藤　藤　藤　藤　藤　藤

て藤　藤　藤　藤　藤　藤　藤　藤　藤　藤　藤　藤

国　藤　藤　藤　藤　藤　藤　藤　藤　藤　藤　藤　藤

を藤　藤　藤　藤　藤　藤　藤　藤　藤　藤　藤　藤

小七日　二七日　藤　藤　藤　藤　藤　藤　藤　藤

なわ　藤　藤　藤　藤　藤　藤　藤　藤　藤　藤　藤

藤　藤　藤　藤　藤　藤　藤　藤　藤　藤　藤　藤

藤　藤　藤　藤　藤　藤　藤　藤　藤　藤　藤　藤

こと　藤　藤　藤　藤　藤　藤　藤　藤　藤　藤　藤

つ　藤　藤　藤　藤　藤　藤　藤　藤　藤　藤　藤

藤　藤　藤　藤　藤　藤　藤　藤　藤　藤　藤　藤

藤　藤　藤　藤　藤　藤　藤　藤　藤　藤　藤　藤

藤　藤　藤　藤　藤　藤　藤　藤　藤　藤　藤　藤

ハ　藤　藤　藤　藤　藤　藤　藤　藤　藤　藤　藤

藤　藤　藤　藤　藤　藤　藤　藤　藤　藤　藤　藤

葉

擬 れんだ連歌の一座一句の上句下句とくらべ合せ二句をつゝけ
ても不苦但霞風花鳥等の文字を花の句に
用ゐる事なり乃句の用ひ方
分事なれ

表雪 ゆきの連歌花乃雪今一
句こさめ

表雨 さめ一句雨滴の表雨村
雨こさめ

表風 連歌の表風くと
二句表乃風との字
を入くも二句乃中ゆわ
但乃字をいれまたの字を入くに二句
をつゝけ

表月 連歌の表月くと二句
表乃月と三句乃表月と
三句表月

いさよひ　上句下句各一ツ挑
諸よめハ上句下句
いさよひめくも今一くつく
なよ三句をへしと侮りの
事く

春月　每一まへ明一三日月
一新式よりくれらく
ら若く一座三句乃うちのし
挑まハ勝月春月なとく数よ
讀く今一く人へ一座四句
たゝり夜多く同お秋月と
や
八おとくるりくまくとん
く阿しうし次只今家に
此清と阿ハ春夜多く此月
乃事し新式をうく見付
ね人名やを雪多きよ三日月
まるのある一倍しきくんと阿るらち
されとおもくす連すも一座よ
三日月一まへ明二とゝ定く其
毎わ挑まハ猶乃三日月を
るもく代の季の三ケ月今一
わるもしまへ明きるもく出崎よ
他乃季されまへ明今二わる
それも猶乃まへ明二およる八
まくや他乃季乃まへ明二八
ゑくす毎く一句耽宜し

春と春　又句春之同云挑
諸ハ和漢乃むらく
春婦と云しよ仍ととく同季
をとも七句ハ婦諸ちぬとや若云
も花西私雲首清ホ緒也清
擒るとの挑諸よ季をとを文

句去ふるき様しと定めらるゝは
高貴なり行るよ年宗祇
乃独吟の誹諧をとりん作まと
も詠み句去もしくあるなり
先師高らかに様しも定
てはかりくわれ法ろやせ
いふて隆盛り給へる作

花 一座四句の物なれとも誹諧
なりし又句を合さするれ
是誹諧も四句を許し尤親を
和漢なりも四句なれとも両
あらし去嫌の大法誹諧と
和漢ニ准を許す厳に誹諧
まゝ花詠ふもなし難なり
いふく花と面をかへて今一
正花又あまてとり花乃句数
然よることを法ふわ許すよ
まゝ高く句も花四本の内
なり

花ふ擬へは 付句さるれとも
其句の正花擬
めさし高き句様ならへは同一
成る向に待擬なり花
をかへるも付へるし次連に前
ものは擬と花と面をさるへし
誹諧にハ七句隔るへし

花 花茶ふ 正花なれとも
雑し

花乃雲 正なし 植物なり
境物し花也
雲乃下ニ合にあり一物乃取なし入

あるハ花を雲と見るころも
雲を花と見るころもおなじ
花乃雲といふによりて櫻植
ニ比せ植物ニ嫌ふがゆ
ゑなれと誹ニも新式のごと
くなし

花乃瀧　正花にて新式のごと
く植物にて三句白山
数多ニても三句嫌ひ緑
なれハ新式にハ五句ニ嫌ふと
まなを云物ニ花乃ちる
様をいへるもハ植物のこと
あるハあるしゝニ文字
流とのしとなりも又あるべ
なき儀なれとさもありなんハ
花乃雲も花乃雲にハ

あるとも云儀なれとし花乃
波も浪に似たるとて聳物
ならぬハ植物にハ嫌
ひなく誰とのたまふハ
そこの花乃瀧なりを
水辺に嫌ひまじきにも常に
水辺に嫌ふべし新式にハ
混合を入べき物をハ五句に
嫌ひ不混合ものをハ五
句に不嫌とも定るハ月
雪月乃類にて夜乃詞の
ハ混植にハ入べしとおせたり
さあらく分かるべし嫌ひ
ひも乃波花乃瀧ニハ六ケ
敷植られも新式にもなし
分別一花と一ケ条云て書

玉しゝ苔とこの屋ひ
屋うよ誤作まつし今番紙
略しく記しく主作の花花
滝とゝい瀑乃おうく社落も
とも又花乃ちら交く落
乃滝ちとも又花乃中う
落乃滝ちとも神うう
山猫咲初しうう久鶯花
雪井よゝ面の瀑乃白糸
毛赤い落落乃ムムもあさ
う花乃ちうと花乃滝と
いふく一番うムムうい
さゝしまうくんうんと家別
不ふいうさ瀑面ちよう光
角係句神ゝうし

花乃波 西行し水辺う
神波乃ちい瀑西花白浪の
うるよ瀑面ちうつふ
樹樹ふあうちをつふ
花乃雪 西花し樹樹よ三
句ふう物よ瀑を
雪乃花樹樹よあうすう
樹し

鳴ふく 鳴し鳴乃空ふう
杉ちを蟬生数よ
二句蟬くの空ふよ三句風神
う二句ちし鳴ふくとつふ
ふ鳴くちうく

芸風 呉一芸乃風一組不変
呉角に
云当乃ちを入く

二八月しまん梅うと数ま
らくいゝ上一あるし

春乃日 といふ句になるべきに
わらもしきわうし
永き日春日永き日とも
もと

猫姫 俳人猫非狂猫一名
也しなふしうう治ま
かゝうか取し非三乃用とし

花を結ふ句に 雅山どの
ふといひ
ても結まあるすたる結
といふ字へしもなる寸組
毎ひかく花を見ろ補
すらし結し

花 発句脇第三まてハと
句し四句めより面八句
乃うるゝるを初事とし又初折
以為下句ゆくもくうし
くう寸又独吟すれし十三
句め定座するく属る論る
発句脇第三乃外八句花
用をぬ事といふ法発も之
気いゆへもくるしうう
花を

花の字 とかも正花よし
花なり

花乃ちるは 桜乃ちるハ初
を花を憶かる
梅桜何葉末葉末乃ちる
八面を婦ふあ発雲散ちるの

ちるハ三句ちる

花乃ちるに　素乃れにつる
用るとの打つるハ結くもく
ふしゝ千ゝ日数

花乃ちるうけハ新しと
流れ〳〵花のうけも義ゝ
もうれ法乃字なし漢ゝしハ
花新なゝくいとり

花のあるなる　きく種物に風
種しあり植よ
あるす

花乃郷　正花し種植ゝ
連ゝうゝハ表乃
意ハ風ゝ新ゝ句種ゝ

中花ゝ新ゝ花流
雑しゝ時ゝ殺ゝらくハ泳
種植ゝ二句ゝ花ゝるゝ
ゝゝ花の郷ゝゝへし種
植ゝ三句ゝ種ゝ正花ゝ
ゝゝ種乃植をハ結ゝ表ゝ句
へゝ義ゝの打ゝ連歌雑
結をゝ所ゝ花乃一取ゝ
雑乃句ゝ打ゝ家時ゝゝく新ゝ
乃理をゝけく雑をし
雑ゝゝ所し結ゝゝ
句ゝ

花やゝ　表ゝ物ゝ表ゝ
やゝゝ
ゝゝ流ゝ打ゝ句ゝ二句種
打ゝ

たし花とゝ云やうにつかふ詞
正花なるべし但一に依句
によりて花やうとつかふ詞の
ことハやう料式にハなけれ
ど又とうし安言の説のご
とくなれど正花ニ嫌ふ説
しく春なるハ植物に二句
隔へきしかるやうとつかふ詞
なるの上つらも付くべし
正花ニハ成まじきと存也
と花ハしらふ詞とひらけ
何なれど正花ニなるといへ
ども一義ならぬ名業ありて
字あれど花乃字なきハ二句
去し花ハしハ一字なけれど八
花乃字あり二句去なるべし

じ二乃詞ハ雑なるへくけれ
ど料式の仙花花に准し
て春に可用頭志うらて
但句体ニ正花にも成なるべし
あまたハ花乃字
もぬくし
これも梅の花
菓乃花乃類なハ二句去也
植物なりハ二句去へし正花に
も成るべし

花のもとく

花乃類花乃
まへハ雑ニ
乃ひ乃上にやならし植物
に正花ニ春にしなくハ花に
なりなへく人をんらへのやれ
正花に春に植物にハ二句去
成し然ともなるなるべし

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

い義花しうくり花豊流ゆくい
雖し種種よりもあり次玄泡
いつ寸ハ必ず風へうし次
非君而一姫人編

花車 必花こ玄こ玄こ玄足車
乃ゆ寸し

花軍 必花こ玄こ玄い玄
家と楊貴妃と玄
お花ゆくおひあひあそこ
行こゆとゆ寸

花山 名流こ玄こもこの名
あわ白雲ふよつく
三白玄吳白ふるゆ
三白を必花う白ひんゆ
へ玄理こ白ゆ寸へ御ゆ海と

種種よりも玄こ玄よりもゆ寸
うゆ寸こ連玄ゆよいいゆ小あ
ま寸流と瀑流ゆいい必玄
玄場へ玄こ化い雖玄同玄花
乃名ハ玄流乃名ゆ名ゆ名
ゆ寸も寸く必ゆ白ひゆ名
いゆ玄山を屋ゆ寸ゆ寸
いゆよ玄乃河いゆ称こ必
ゆよゆ寸流ゆ寸ゆいん
言玄花流こ名而ゆあ名
花山い名流ゆ名ゆ名こ
名ゆ寸へこ花山流も名
流こ流乃流ゆ而玄家乃
流名ゆよもあま山歌ゆも
ゆ寸必花ゆ寸ゆ寸ゆ名
名流ゆもゆ寸ゆ寸ゆ名祢

非公仏影し

花の香　神乃香人がおとよ
連　あよい形を畑
縁結ふ　い面白を畑へ

花の白ふ　らふよ神乃香う
縁結ふ　いの七白　香人うおとい

花ぶち　傳流乃盛のわく
まろくしくめ
道乃時ちらさ　陶とつふ
正月表餅よ　義花ひと
てあわあきも　ものよ
ぬし正花ち　ぬし傳ぬち
次い正ぬよい　るれ表う
あらすと紙　ふく白神よ
よりあくさ　のむの

花小吉野と行ちうの頃

うぐひすの　紅葉よ花い不昔義よ
ちぎ　紅葉よ弱田月
ぬ瀬野
よ文級回お　陶と不乃神
を付ち回ちこ　ちるのらし傳う
鯉を紅乃海　よ翻ふくも
付ちちきわ　ちや昔ふを紅
紙不審しひ　ひ事い形武よ
ものを次いた　ま内ふ西の
ふくともこち　ふとも海う者の
ふあわひうわ　ぬめ紙春ふう人
いおそふくい　稚成乃ふし表
る細を出ふし　ふれと表よ
ちうを次ちあ　ぬうんよあけう
表よ吉野紅　紅葉よ立四月

よ　嫉妬　ふるうを作き
ぬとんの作へしひかい付
合よりもくるしからす吉
もちいさるるきさるるあるう
白山とつのふの雪の紙付へうう
を雪うう白山のをも付へう
雪を用し雪乃名流あるう
富士い雪よ付くも雪紙
付くもくるしうすを
ふのく自余れるを新
うへし

花の粧　花と雑し　人倫

花田　正花よりあるう寸長茅
乃うるあくうあくうあ
花田乃茅あるとうにうう
相のれを秋ういるうう
雑し種相しも衣類うも
あるう

餅巻　正ふしみし種物よ
二句し

花の花鬘　ひこ　あし雑し
人倫し種物よ姫と云姫と
花のうき　正花を打し云
うのうう種
相うあう
うの花　花乃宮
うう種相よも
きうう種花乃宮
うう白袖うう云

正花ともいへども雄へ雄花とも二句ともいへり

もとゝ桜 花乃宮よりはなを
ゝる花巣より南ゝ
はし

花へ花瓶 正花をはなし
生花の目ゝ花の名所
も雄花ともはなし

花生薬 花乃淵あゝ花
ゝゝゝ淵よりはなをいゝ
て雄花ゝゝゝ淵より淵
をいゝゝゝ正花ゝゝへ
正花ゝゝゝ雄花ゝ二句
ゝゝへ雄花ゝ

花うゝか 雄花ゝ淵へゝゝ
ふゝゝ正花ゝゝ
ゝゝゝゝゝゝ

花下る 非正花ゝゝゝ
ふゝゝ
ゝゝ雄花ゝゝ

葉のゝ形書 葉ゝゝ花ゝ
ゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝ

花茂 花乃ゝゝゝゝ
ゝゝ正花ゝ
雄花ゝ

とゝ[illegible]ひ乃ゑ　正花を打こ
雑花よりあらゝ次新らし
花火　正花を雑花を打こ
花火と潮の雲こ新らし
雑花よりきらゝ
花うつを　正もを打こよ
あらすうへものゝよ嶋へらす
花つゝ花　正花こ雑こ雑花
小二句去へ
繪小ある花　正もを打こ
雑このう
あらすまこ
花うつ　まこ雑花こ正花
雑

花ゆう　緑乃事こ雑こ
正花を打こ
雑花よりあらす
花こ　小鼓よりあり正花よ
へるれこも事ハうこ
す雑花よりあらす
花を嶋こ次　正もこ雑花
ばりを潮の田
雑乃もをふ
るけまこまよ
まんあこ新ゆ
ゆこうれを
正もよりあらす
す雑花こ二句こ
ひゑ乃たこみこ
もも雑ゆへ雑こ

なりまさに物し種物ふるも物し
人よの作りの乃張華ちの
物本作りを句ゆくく花まつ
次とくふも因おし物乃ものを
ゆく次ひまよりゆく次正もよ
もゆくすう人物ともゆくす
物物乃ゆくの同一

花乃實（えん）　正もし書こ種物し
花乃物ゆくゆくえんとく
物よゆくす離しんめしれよ
帰のるし

葉實（はのみ）　すは俳文句しめひ動
武り一産四句の物乃和

一産よ文句ゆくもの海しゆくこの葉と
おもとの本の葉乃ゆくもゆくふ
葉一ゆくふくくく葉葉
葉ゆみち葉ふ乃ゆくの葉
ちゆ句を物武をくんの
ゆくく連句ゆ葉を
れちゆ人句物乃葉物乃葉
ゆくゆ本乃葉のゆくんの
て一葉葉ゆくに面を連
とゆくれゆくれを代不
電しく物ゆ連ゆ結ゆふ
流を句本ゆくれくく
ゆ乃ゆゆ本の葉とゆゆ
ゆくゆに物ゆゆへゆゆ葉
物ゆもゆ四乃葉いゆとく

ぬ春の葉と和歌に
折り葉折り乃葉ふをおりて
とわ繰ふるとは折りを
繰ふ句をさきとこと云ふ
とわひと葉乃間よ得り
わわ義葉とこれをさらぬ
冥乃間のとも絵を折乃
葉とひとつよ混ぜ合せ
もめくくく新式の文武
ちく結ぶ心を歌を作る
新武よ葉乃字を写す
ハ句をはくくもく決し
ても樹木の葉のるゆり
さ沿よくくくるれ義所
の葉ホハ文句をとおせり
ひ木の葉よ作の葉るよの
葉ふ雪乃葉ハ雪の場とつ時
云乃葉門ふふハ郷俗ふハ
三句ちし翁ハ付くもく沿
しかく云乃葉ハ郷ふて
云乃るゆしてふをはきんと
そくと三句云へ一舞る
とのおしへ葉くれとの
やくくさくうさく葉の字
ふあくく結し付くもく沿
しかくすと猫ふ猫ふくよくうの
入くあるるくあるいくの字より
三句ちし葉字るの祈も一
雑文句乃間と雑し一葉世
ハ雑し木乃葉ちくわくく葉ホ
ハくくし云文乃字をそ

[illegible]
葉ハ夜し松竹の[illegible]葉ハ
雖しそれも又乃宮あれし
[illegible]し葉乃宮の紅葉之句云
今

[illegible]乃宮　[illegible]宮滝乃事し
[illegible]

[illegible]と[illegible]句ハ雖し
[illegible]乃宮とふ句ハ[illegible]に加し
[illegible]

糯　只一名ハ一物一名糯一名
[illegible]
次[illegible]乃滝糯[illegible]
[illegible]
[illegible]ハ[illegible]糯[illegible]
[illegible]
[illegible]天糯[illegible]
[illegible]

連[illegible]の[illegible]の糯[illegible]二句
[illegible]
[illegible]ハ二[illegible]
[illegible]の糯も同し
滝玉滝滝下[illegible]と同し糯
[illegible]乃外[illegible]
[illegible]
[illegible]

四なり

溪底　りくハ弗而ハ歩廻を
無今ハ三句ハ
[illegible]　只一句ハ一雫ハ
いかハ今一ハ
ハ三句の拍ハ
初瀑ハ　山ハ山ハ影ハ
ハ句ハ種も同句
ハ句ハ拍ハ影ハ
ハ句ハ拍ハ影ハ
同句

初蓮　ハハ

芭蕉　始し蓮ハ一句の拍ハ
ハ雫ハ二句ハ

花物ハ[illegible]ハ
物ハ[illegible]ハ
[illegible]ハ
ハ句ハ
ハ句ハ
ハ句

[illegible]

初嵐　[illegible]

初幅　[illegible]
八月十六夜より風波を
[illegible]

原　[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

蓮

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]の蓮[illegible]系[illegible]乃
和府蓮同之蓮[illegible]王臺の
[illegible]同[illegible]之[illegible]と一[illegible]
きんきしの[illegible]葉[illegible]
[illegible]へし種[illegible]
[illegible]名[illegible]一
[illegible]種[illegible]
きん[illegible]二[illegible]
し[illegible]三句乃
[illegible]

端山よ

[illegible]山乃端[illegible]
[illegible]端[illegible]山[illegible]
[illegible]武[illegible]
[illegible]蓮[illegible]

[illegible]端山[illegible]
[illegible]七句[illegible]
[illegible]蓮[illegible]
[illegible]離[illegible]
[illegible]

柱

[illegible]武[illegible]居[illegible]
今蓮[illegible]居[illegible]
[illegible]柱[illegible]家[illegible]
[illegible]
[illegible]柱[illegible]
[illegible]我木柱[illegible]同[illegible]

端居

[illegible]居[illegible]
[illegible]二句[illegible]

そて

[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

連よ二句[illegible]

俳よ[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

多肯の字をみまこハ毛ハ
ゝ風雅よ二句吹乃字ゝ
二句ゝ毛ゝ毛の雅吹ゝ毛ゝ雅
ゝゝ字をゝゝ雅ゝ雅の字
二ゝゝ毛雅ゝ雅ゝ雅ゝ
生数ゝゝ毛雅ハ比ゝゝゝ赤
ゝゝ毛雅の字ゝゝ
ゝゝ毛ゝゝ毛ハ二字編欲

腹赤贄　元日ふゝゝゝ
長演ゝゝゝ肥後国宇土郡
腹赤ゝゝ鶴を
ゝゝゝを京の作時
ゝゝハ聖武ゝゝ貢舎になゝ

初雁
生数ゝ元日の鶴乃ふハ
初雁ふゝ毛ゝ寅乃別ゝ
聞ゝ初ゝ毛ゝ寅乃別ゝ
聞ゝれゝ和ふハ句編のゝ
ゝゝ

ゝゝ打　ゝゝ

花ゝ川の祭　ゝゝ

花ゝ乃葉を結ふハ　ゝゝ葉
ゝれゝゝゝ

ゝゝ屋ゝ　ゝゝてゝゝ
ゝゝゝゝ
ゝゝゝゝ

蘇の戸蘇 [illegible]

[illegible]

深蘇 [illegible]

[illegible]

牧 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

初霜 [illegible]

[illegible]

初雪見参 [illegible]

[illegible]

たるの例よりあり[illegible]

初雪の[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

篝火 祈禱の名とも篝ともし

[illegible]

篝の消さむ山 連句なるべく

山歌一二句

[illegible]

ふしたつを 篝乃たまりの水

[illegible]

句あるのをもとも二句と言ふ

物よりふしたつをとも

又字あるを篝とも

[illegible]

と憲法乃乃[illegible]

ていの篝乃間し南嶺居

[illegible]

[illegible]

[illegible]

燭 てい篝と文字なる

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

鶏を代用する乃羽とうをう
えれあさ屋しし業流なら
古えのよ形りし続くらい
くく家のわし出代風俗
じりよりう流ゆへよわし
う羽をよ紙羽とおひさ
羽をいわしうふうへり
古者よあ屋羽出ふ場ふや
こうこうあく通不紙の
人嘉子等ハ文ハ月へうん
又鶏古者流乃ふし鶏是
山天数し鶏羽毛鶏板美
うげぶさのうもしも出鶏の
字ふうけよ羽を場ひく
いけくもうもしふえうや
ふくうあよりわあを作をる

ふくうの美ふんしよん二句ちうし
又鶏合いおうふう あうすこ
月うよふうあよ表ふ版
うふ抜ありうあうり版苦含
ふあうすう家羽紙うしこ
月ううてせうるあり礼紙
うひうあいり系ううへ
いけうもう屋ふるうた縫う
離ふくく雪へさ歌うう
毛乃縫うわう毛乃馬ふ縫
ひ鶏のもうてう屋事
ふれうあうう鶏をうこう
くうまふよりあを場へし数
ふうもう生数うもあうう家
うう野ひ数歌ちうのうし
三句のあし

贄（ゑぶ）　生類より二句ちがし贄とし
門人間意　裏又祢ぶ
生ぶくまつるとゆ
ふらふ義もあり若菜の羊
のふくし　服赤の贄（にへ）ふくしい
まつし系約の法師ふ路道
ふ若菜ふしふ表日の
ふふふへ瓢糧をまり服
河乃物祢へ蔡をふふる
ふ落祢紙より泥ふ句く
ふふふく重ふ乃ふん作く
ふふへし

鳴（なく）　雑ふ落菜も雑ふ雛
ふへ鳴一ふ作ふり一ふ
二句ふふふのふふふふふ

ふふふふふ

みを物乃花　あら面うちさん
　　梅嶋しゆきと
　　ぶし瀬つまハセ白ちへさく
物乃歌ハ物をはこれ
　　ものへ毎こへ雪物を
　　とい今花乃むら乃雪ゆくいへと
　　うちよるうこ沈准ゆ瀬よ
　　こセ白ちこ

綿よ

　　ゆ葉付白ちこ
　　綿ゆもゆ葉をかめ
　　ていへを落紅葉梅こいと
　　雪を物歌武ゆ雪ゆ雪ゆ
　　を代表家面乃俳葉
　　ゆうにきこゆ付合ハを
　　色ゆ白ゆ雪ゆ雪

まをふ為葉なゆ
山吹ゆ花ゆ牡丹ゆ春類
清風ちこ人ゆ綿葉ゆ
ふゆ沈ゆ雪ゆ紅葉を
梅へゆ乃ゆに雪ゆ
文を清雪ゆ乃雪を紅葉ゆ
梅とうけむし集冊を
ゆ文春ちうめれも
ゆきこゆ文ゆくれゆ白
こを文ゆこひちゆ面うの事
雪ゆ紅葉を月桂ちゆ
付白乃白ゆ雪ゆれも白神
ゆゆゆ雪ゆ面ちこゆへ
うゆ沈ゆ綿ゆ紅葉を
付ゆこを乃種ハ文ゆ紅ゆ
春ゆ沈ゆ面ちこにゆ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一句ハ[illegible]の美名ハ
[illegible]ひわらへ[illegible]
を又哀傷端[illegible]の[illegible]
[illegible]ハ[illegible]
花のとゝ[illegible]
強[illegible]花[illegible]惟[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

墨月記 [illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

墨 [illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

墨 [illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

へ文字 [illegible]

[illegible]

へて 年をへて[illegible]

糸を[illegible]

[illegible]

[illegible]

てもこの句の関し居るなり
しかるにこれ世ひとの
ゆへとやうなるれし新らしき
乃ちくし又居上に如来
下吟来下をしあらい居る
うこの句しもも新らしう
あるべき句乃関と又産業
のゆりの間来るを来乃花
来の無絶来程来えんる
しかい人居寝居るしあらん
新らしあるべきなり
句なる三句の関し紙乃来あ迎
し居る新らしあるべき組句神
ふしなりを来乃関し
細紙乃来あ迎し新らしるり
居るよ二句をしあ新らう二

句し来三乃関し紙ゆへ乃
来居るし新らしにあらず来
三乃関し来乃来居るし
新らしにあらずあまりくあく
んをのをくうなる来うし
来の面なるあるもう特
ともを来の来ともあるあまも
来三の関し入ここをうう
をあるこしらうても
三乃関しここよこそこ
及ふい来乃字よあらず新
乃字をうけし各別乃ものし
新らしあるこしこなの竜
しかるも来三乃関し居るよ
二句し新らし来の山来居
関るこの居る乃来ハ来の

[illegible]

[illegible]

[illegible]

以て理にかなれし洲濱のか
ぎりうは和らにあらに可考燒
も洲和らにて灯油灯油和らし大き火
の灯油灯油和らし大き火
は和らるれども和らにあらず
和らにあらず乾燥ハ
灯の字不へ和らし田のあし
さ燈火灯ハ面を燈燈を
燭ハ田の間し燭燭田乃間し
燈和らし燭の字ハ
し燒あし

ごとく　文の和歌あるを
あらし照射にあらし
裏ハあらへ
燒ハ田乃間成るしかく
間あし

鳥　多くの言葉る一ハ名村名
ハ乃名ハ一名鳥といい
し一特鳥乃名ハ名ハ名
和名ハ名ハ名の事なり
右和武ハ一産田の稻乃
産産うし田乃名ハ云ハ
名し雛鳥ハ
類花名ハ
も一種文句し
云るれも和ハ
ハ文和ハ
もも文和ハ面を
小和鳥の名
うさ乃名ハ

い鶏なりわ毛るとハあまとと
毛ゐこ落ゐ
各ゐのゐ毛こ
毛るこゐ句
ゐけるこの
もくゐ
ゐゐ毛いわ毛
ゐゐハ云ゐ乃毛
こ逃落ゐハ三句
乗ハ此生数華表とゐけて
毛乃字ゐ毛
二句ゐこゐ
ゐ乃字ゐ
ハ二句ゐこ毛
ゐけこ二句
細ゐくあま

ゐゐ毛ハ面を塗ハさゐ
云云抜ゐあま
乃数ゐく
句乃門こ
ゐる祢ゐ
乃祢ゐ職ハ
毛のゐと
門こ云ゐ
こ生数ゐ
ゐこ毛窠
云ゐの毛ゐ
人ゐゐ
こゐ毛ゐ
乃門ゐ
生数ゐ
二句ゐく

ゐ毛ハ面を塗ハさゐ
云云抜ゐあま
乃数ゐく
句乃門こ
ゐる祢ゐ
乃祢ゐ職ハ
毛のゐと
門こ云ゐ
こ生数ゐ
ゐこ毛窠
云ゐの毛ゐ
人ゐゐ
こゐ毛ゐ
乃門ゐ
生数ゐ
二句ゐく

戸宮

[illegible]

[illegible]

[illegible]

乃間居不ふもあわ成うま
嘩へさたり水戸川戸澁
戸ふも門乃字又海乃字を
も出ゆへ[illegible]よのうれあし
戸乃字より二句出居し云
云物戸より書[illegible]作[illegible]
い法重も面紙嘩と云これ
大方誤しもそに新式
を[illegible]しおり紙を嘩へ者の
物乃間字より[illegible]と入あり能
[illegible]新式乃字のくく戸
より字かとせわく宿ふ居う
ち紙を嘩へ[illegible]
より[illegible]文間[illegible]
と嘩[illegible]
居不[illegible]

戸打紙を[illegible]嘩しへんの
ま[illegible]云居不[illegible]
あ[illegible]間物[illegible]紙
よあり合の[illegible]
[illegible]
字もも物し紙[illegible]
八祢紙し紙居[illegible]戸の字
文乃間し字乃[illegible]
字[illegible]
戸[illegible]
紙句嘩[illegible]
戸を[illegible]
く[illegible]
戸[illegible]
おあり有上[illegible]

あまつ秦の河原にたち
さゆへ酒のまてはたらく厳よ
ねつ事をうさうにはわく
上のうひうの間より蕃をうか
酒のうたさうしをふとを
いつら徳せ日なへとうあ
書乃間よりせうすんうすとい
乃ら通ふ法市い唐ようく
酒のひうのをいう大臺といふと
物乃なよりをよりをとふ
はいまうこんあうう決とうり
ようそれうともあまくを
あれ著ようの日なよりの結さ
詞るれも酒者人をよりよ
さはのひ人を中戸えの戸
ぬものを下戸とふ詞を

御湯うもうあ乃字の
あまうあ乃間よりあうす者
もあうす戸乃字よりなく
もうはしうあうあ乃間
戸るうあ乃字のい
三句物へさし戸御書い
解官の部名し居而も
あうす戸ぬ間ともあう
す戸乃字ふ対くもうし
うすぬ戸乃うれうをノ
ぬ乃間し居不し民書ようし
てうあし

あまと鳥とあ乃字の連よ面
と通へい
謝ぬへ乃ちを御人を鶴乃ち
くよ乃乃をうとうの歌

鳥獣のくゝ　陸奥の名なるこ
とよりあり　鹿もつ　対句を整し
名の雅風　風雅の神と風雅よ
三句　句をし名の
雅わくハ二句と名乃雅わくさ
ゝ雅風神
名乃菓　名のお菓名
さえ法ら法まし
菓屋　居所ゝ三句こて
あさハ二句し雅郷
菓も藤も姫くとゝれと
二句し非名迦法ふく無る
ゝふよ姫り雅わ
名屋雅名　交し名のゝハ
雅し雅句雅名
おの名のハ秋くし物名同
おゝ
菓月時中辰日くし入名の章
い時あり又日お紀よ宴の字
とゝよのあり　句ゝあハ句
雅よゝ法重この名云を
もゝあわゝとへゝ
ゝ句も名へ　名
大法名名的乃名云月
とゝ法名法名ゝ法代
乃姫の名のこよ乃わを
大雲ハ名ゝゝし毎年ゝく
ハ秋雲ハ名ゝ云ゝ名
ゝ法ゝ法ゝ名年のゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

年ふるく　[illegible]

[illegible]の浜の浜辺　[illegible]

[illegible]海[illegible]

[illegible]

[illegible]

なりの海ぐうの海のところ
藤乃句ふ舟句
あるす舩をもとひろとやよ
ま新ふふあるる宿乃移
ふ藤河とあるるはら海ぐく
乃事水句てし新ぐし藤河
乃もわくいう海つを舟とろこ
ておかく玉裾ふは連よ和
ふよあるるとふるいおか
ぐるおいらかくをるう
ぐ畳もひるるを藤をれを舟
をしむるゆへたうるうく句
ま上もうやうのをんさくい
六ケ敷義をれを涙も連う
ひるくく句ぐ

波ろ

あるる連ひ乃を藤ぐ
あるひるるを安を連ふの
宿へをあく波ろとう河
乃宮と今一ひを人をうを
ゆへあ連て弔乃宮ひるり
唐ろうの死人を宿ろは後
乃ぐ死ふ引を波ぐ門ふ和を
しい波連も問乃宮ろは二句
ぐし

ぐひろよ

関ろを波ま
あるくあり
あ連一ひと句波ふくわく
ゆるも不者

[illegible]

[illegible]

[illegible]

もく知人世上ふ事之ちあり乃
名数ちゝ爾ゝも如をし子乃字ハ
一文字乃ふよりあらく数字
るれて能ちハ面をくへくを
し字去乃流ちゝ用給ゝ
ふ乃字振の字ハ二句法ゝ寸
爾しゝ以へるハちゝ所あし
付ちもく所しゝ

子種

名前付へゝ
前ハ名前ハ所し
ゝ仮名云ふくのちくゝ
主ちも子種ハ名前も文
ゝ所しゝ名ちゝすの
ちゝを付ぬしゝふ古法ち
世ちゝ事やくゝ子種云ふハ

と此人ふゝ神ゝくも名
の字乃字ちゝ雑や
子前ハ子種ハ地名の
前ハ百前ハ地名も前ち
ちゝ文去雑名のちくさ
以ちハ雑乃ちれ爾くちの
を以ちハ爾ハ前の字ち地
を種乃字ちし種乃字
ゝくも前乃字ゝくもく
ちを爾ちく爾ゝ

子里と

ちゝ名ちゝ所ハ
あしす

路と

爾ちの乃ちゝ
事ハいれと長文
ちし世ち物ハよくのゝく
爾ちハ爾ちしちてよ字弧法

[illegible]乃古句を[illegible]
竹田の舟流[illegible]
[illegible]
[illegible]
連歌道ふ人[illegible]
宗祇乃あ[illegible]人[illegible]
[illegible]連[illegible]七句[illegible]ハ
又句[illegible]

路[illegible]乃句 連[illegible]句
[illegible]れ[illegible]
[illegible]山流[illegible]
ふ[illegible]道[illegible]
[illegible]道二句[illegible]
[illegible]
[illegible]乃二句

[illegible]
[illegible]
[illegible]流[illegible]
[illegible]
[illegible]

散乃字　謝ハ三句ニ云シ
紅葉末乃ハ紅乃字ハ乃ハ乃字ハ乃ハ乃
杉を始へし謝ハ面を
ら

第代字　杉武ハ作ニ云シ
稲乃屋ハ云ハ一産一句の
ふたハ寸謝ハ杉ハ一作く
ハ武ハ屋ハ殺ハ懐く
も田肉ハ作り

稲ハたハ　白神ハ作り
て用ハ
ぬしのむ　ハハハハ不書

利

ハ里ハ代ハ　杉ハ紙ハ
小成ハ云ハ　呂乃字ハ
謝ハ寸里ハ通ハ
ハく武ハ呂乃字ハ雜

里ハたん　ハん毎ハ代ハ
伝ハ杉ハ紙の説
里ん毎ハ定面乃説ハ
ハ　杉ハ

無

ぬしぬ　紙不のぬ乃乃
杉紙ハ不ハ
之由ハ定武ハく
不のぬハふのぬ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

人倫なくんば人倫よあらんや
ふ朝と新と新武り毛と新
武を續人も新武乃んをとく
ちくなゆへ人よ如乃の規矩法也
まあり濃乃爲るもんと
へと歌わるもとふと歌ね
しとふとくうあわや
とあるとと人倫りあんと
いとと家ぬ人倫をのる爲へ
こと強くと爲別をへ

ぬ爲ふ狀 二句をとくと
凡今菜とに蝶きい不蝶とと
をとふいくく蝶るのあるん
人倫ぬるふとと云よ雅とる
[illegible]

屋しお句の句雅りと
屋さ形あり

ぬる此宮 連ふ二あり 跳
くくと三句をへ

ぬ別に神もすそのを爲
連と面を場へと跳の八句
ちく爲るるるるふあも
きくとん

ぬるる神 爲と濃と二句去
乃濃爲ぬ爲句の門りる
をぬくくり

[illegible]

[illegible]

[illegible]

女色花　只一句俳諧

女らうこと

おいのくれ　[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

小野　只一ツ[illegible]二[illegible]

[illegible]の小野一ツ[illegible]

小野二もあり[illegible]

[illegible]紙も[illegible]

[illegible]の奥も山

[illegible]

二[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

親ふる　二句　父母

ちをふるも国の呪ぞきさら

[illegible]人親とる

なるし親し筆めうれる

ふい付くしらぬしかさ

ふる程親しらふるの間

[illegible]

[illegible]

[illegible]

しき暑の花を添まいの友
よ聞く鶯ぞ初音ひめ
なるし為ゆ山むるの初
を如へし海苔波

和

為業 あ一ふく作者
離しの人物をうへく
業の字今一字へ業つ
くハまくし業のの死もまくし
業業ハあくくしまくくり
ハ離くし干業離くし業くる
業留業離業事業合業
汁清離つまくる業秋し業
乃くくちハまくし猿業ハ海業
まくし業業ハ離くしハ作者
わくくも一度小業の字二
と丁ハ乃紙歌業汁くハ
湖業ふし歌メふくくて
れをとくく今一まくへしを
少ハくハし声ふまくまくを
くもあくふへくものうもの
れとまく業乃事くくもメ
えハ汁くハ乃まくひふ乃
抱れし業二の和まし二一
まくくくし歌文字用くれ
くれをとくくくし

別恋 二瀧清まくくこの雑
ふくまくくふくくも
恋るれし三乃内くくあく
もくふ恋くるれくもふ

乃文字ハ三句乃外
なり

新式小海

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

新雪巻

新式三十句の山数の
神祇部 新雪巻顕雪巻

[illegible]

わとの雑巻

雑し花を法
ていへ為し此事
不知加之
不相伴乃人曾て
云物ふよ乃字よ二句云
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

和田乃原 海の中を遠く漕ぎ出でて和田の岬を漕ぎ廻りつつ行くもの[illegible]

[illegible] [illegible]

[illegible] 川の名は[illegible]

[illegible] 乃川の名は八[illegible]

わさ田 [illegible]

[illegible] [illegible]

[illegible] [illegible]

[illegible] [illegible]

[illegible] [illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

加

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

加

武乃字

[illegible]

社乃

連歌[illegible]

[illegible]

連歌と謝[illegible]

[illegible]

句[illegible]

[illegible]

下句とうへ[illegible]

し但一ハ[illegible]

[illegible]

[illegible]

乃間しらずかをつ水辺
ゑり

鳥　まこいろ〳〵の沢あ
まてうけてき
ゐるとんぬくもをへ連句
まハ一座一句乃間をれも逃
ゐるまハ二句をへ係をう
数ふもしへさ屋うちけき
もあ一句ゆく主へ又
鳥よるとふ稲をうかを
とれるもの蛾もうり
又おをいうをうをく
知ふ屋不知人を逃
ゐるもし

源氏　逃懐し逃ゐるを
二句をとはし居を一
ハ源居源逐源をうく
数ふをへ源氏
ハ居ふ二句るれを源ふ
源逐をへハ居ふ不源源
居を加し源氏ゐを連よ
面を逃へを逃ゐをへ七句をへ
山家貪氏こ中氏間ゐく
いふよハ面を逃へ一堂蛾
玄乃ゐくまゐハ居ふまあら
すをも一座二句乃間しく
まこ氏ゐ一世紙いをくふ分を逃ゐ
るを付事間をてし

月　表一秋一秋月表秋表
中をまをへ逃ゐハ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

烟 二神烟のうきむるきこの
[illegible]乃間成ること
[illegible]離とりけし海
[illegible]へさ狭されて
[illegible]乃間成へ
[illegible]きな烟拾ると
[illegible]へ船うき
[illegible]へ烟か
[illegible]よ
[illegible]離面を
[illegible]と虎[illegible]ハ七句
[illegible]きにうあふ
[illegible]よ二句
[illegible]二句
[illegible]乃うあふ
[illegible]離よ
二句[illegible]
人[illegible]
[illegible]
[illegible]

歌よハ和字ハ[illegible]
し[illegible]よハ[illegible]
[illegible]日の神[illegible]
[illegible]
天[illegible]神[illegible]
[illegible]
[illegible]
の[illegible]
を代二句[illegible]
武[illegible]
[illegible]
[illegible]

神よ　神ふる[illegible]
し　[illegible]よハ七句[illegible]
神よ　[illegible]神如蓮[illegible]
[illegible]

[illegible]

神ふ　[illegible]
を[illegible]神紙[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

待

[illegible]

とあるまてに桃源ハ面を紅
葉の山猟の紅葉の名
歌をうけ
紅葉を
猟の
凡紅葉凡
名歌をうけ
句句
さるくハ久
まてに二句
ハ不審
紅乃家
ゆくもの
ハ紅乃
まへ
ゆ
ゆ
ゆ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

先は某杯乃面るあて付すい
るゆしゑ変しも和遠をりゑを
ゑゑ物す創きてう
雷を法ゑ理し声名和遠
したるをもとりるの付
取うかハゑよゑゑゑ絵
ゑりるかゑゑゑも白紙つき
あゑ雷れをまるゑ白ゑり
ゑゑ紙葉をゑ法ゑとりる
えんゑゑかの科ゑ紙るへ寄
ゑよゑゑゑゑ紙ゑ屋ゑす

鐘 兵一八和一ゑ武一ゑ武一ゑ
一形武乃紙法ゑ紙
渝潟ゑ鐘一八和鳴鐘を
形ゑ事ゑ白れゑ内和ゑ
ゑは一鬼乃鐘一鬼武の人

乃紙つまゑゑあゑ紙ゑ紙ゑ
鳥乃鐘ゑゑ紙ゑ今鐘者
鐘を鐘時おゑゑす磬ゑす
しあき一ゑ武乃ゑ祢ゑゑ
磬をゑゑゑゑゑ句わゑて
もゑゑ鬼の鐘ゑゑゑす
十二調ゑ乃平ゑ鬼鐘と
ゑもひ字ゑ云調ゑの
時し鐘字乃内ゑわゑゑと
いゑゑも調ゑの鬼鐘もわ
紙ゑゑものゑのゑわゑゑゑ
を鯨乃形の一章連ゑゑ
鐘の天ゑゑゑものゑく
しゑの形ゑを水道
生形ゑわゑゑ形ゑゑゑ
鐘と同いゑまゑも和を

[illegible]

武目より四句の抱きもの
を[illegible]のように三句仕とやへ
も[illegible]句を[illegible]
鯨乃数[illegible]
めて毎[illegible]の種二[illegible]

種すむ　[illegible]

すむ映種の[illegible]
物合の[illegible]
[illegible]
を[illegible]乃[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

霧小　霧の字を結ぶくさ
　　書し

新小法　行脚の句を紙に書て法乃
　　句を家ゝに入ふ
　　ゝれ色紙小ふ
　　ゝ家ゝに入ふ
　　ゝ二句を色
　　紙ゝ家ゝに入
　　ゝ

法のうけとふ　山りけ未
　　ゝけ小乃
　　ゝ法ゝ新乃うけ
　　ゝ月日のうけ人ゝ家
　　ゝ筆の勅ゝ新ゝ久ゝ家ゝ云
　　ゝ晩ゝ京ゝ云ゝ久ゝ宮ゝのうけ
　　ゝ法のうけ新乃うけ
　　ゝ句ゝ云ゝ句ゝ云ゝ
　　ゝ晩ゝ京ゝ寸ゝ
　　ゝ京の家ゝ人乃名

京法京附小乃京小ハも
ゝ法ゝ法ゝ法ゝ結ゝ
ゝ法ゝ法のうけよ岩
ゝ法ゝ二句ゝ未家乃
ゝ法ゝ

ゝ乃ゝよ　乃ゝ二句ゝ
　　形ゝも二句ゝ
記念ゝ書ゝ
　　ゝもゝこと
續ゆへゝ
　　あハ一切不絶
ゝ

ゝ三乃ゝ乃ゝ乃ゝ
乃ゝの字ゝ
ゝ法ゝ袖ゝ
ゝ乃ゝ

もも同じ

くさぐさ小田の詞

くさぐさ小田の詞は
ちはやぶるかみのいかきもも
同じ

楓 杉しまもしても同じ
紅葉小杉ちはやぶるかみのいかきもわれ
瀧もみな西をはへるし

河音乃歌 みな四と澄物
小二句あるハ
七句なし

無櫛 みな音しし無乃字ハ
二句共乃字あるハ
なし

葛城 山とみな字なし
山数なし

芸日祭 二月上申日し
十一月よりあれた
初の祭を必しもなし
芸し

芸日小 いく日みなのうり
三句共ちはやぶる芸字日
乃字ハきりもなし

祇祭 みな大神すなを
月よりみなれたくの
あるし祇の名をはしぐり
祭ハもなしこよりまくうのく
もなしに成し

菖蒲さうやく 彩も
極楽よりあるし物まもるう
まきを理みるうやう

の名まよハ牧乃事ハ大切なる
ゆへ牧ハ牛馬かつらなるもの
ゆゑ牧をうへ今のうちも二句
場へし牧米ハ勢ハ成くう
へものふなるハ事なること
牧ありみうやうに事ハ牧く
うへ牧ハなるものあり元ハ
さ宗遊のうちうひハなること
ゆ和俗乃人ハ合点ゆゑ
事しうなるやハ牧くうれ
を生ゆ

牧野 なること牧といふ
も生野の名なるハ
野牧野ハ牧野を牧し牧野
乃家ハ牧くう牧乃ハ牧
くハ又言ふ

粘野 粘野ハ雲霧又
なること結入くくも牧く
粘野 粘野ハ二句場へし
たう野ハ霧をむと
ひくもなくく

粘 雜ぞなるものもたく
なるくくなるいふこのよう
くくハ落雜し玉
しハあくくう粘ハ式なくく
粘二種あり粘ハ今一種ハ藻ハ
玉粘といハ今ハ玉うハなると漬う
うゆゆ玉うハなると漬う
ゆ石乃なくく水のくハ
ふゆ粘乃葉しなるようけ
て古ゆゆ所なるし三角う
しハ法縄くしハ種このよう

あり相模のくにの松相
あるに賠償のものをもて
をうしなひてとしのあ柴相模
ちかの歩の左衛門尉吳名と
あまりて相模よ二句ゆへ
うしはめんあるあるしこれハうへ相
ふるうへうしすれ相海名所
相模よあるすりやうりよ相こ
乃うしハあれをこれうへくく洲よ
句句もるうへさ欲松相やく
ゆくこあるく唐乃以文字をも
ゆくうへ松乃字をしおるるく
連ハ七句洲ハ文句洲よ
文句去るもをうへさ事あり
洲相を松ちうもなよ古人
七句と家定連ハ一座二句

ゆをを欲いまこうこをゆゆを
きうるるうもも洲ハもしし
里ものくあるよあつ字なる
洲をれよ一ゆくるうへさ欲
相をれの字頭次ハよ
をうあへをしを相ちうち
なしをを相をれとをし
俳事れうやくしの言盤ハ
乃ハあるくし新式よ相ハ離
とあり字頭乃をうかるる
ようをさをハ本ハあるすしう
をうゆ乃書しをるもうハ見おされ
をうるやれうつ形しハ既よ
海道よ歳寒後知松相
後剛をとをを相ををも
いををすをまて葉のゆく

[illegible]
葉をかものとはいふなり和
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]ハらんかうふ出し
皇統しは出を秋津しまふ
し日本を秋津洲とるく
ふ事ハ東國南北へひろく
西出而北へとわく[illegible]へと
ひ出乃うしらを長へ伸く
色を坤へるゆ[illegible]
なを國をれし秋津洲と
ゆしさるふまわく東西と
ちる蜻蛉も秋津もらん
あも清家ろふ[illegible]れ
し雑しひ出をるこ家ろふと
ひふハんかうハ船うすく高
船清ひう清くしわく一和
まわちくくしまえしふハ
人[illegible]国より[illegible]寸湯巻の
あくもろ船くこうのにけり
てまろ船くまるこ家ろふと家
ふも漬清く歩行わるをろふ
乃つとハ蜻蛉ハなく岩
かのくにら海ものし又
石火くく石しうち火
乃光ろ船くこと[illegible]
ろ拾あれしろ合てる家
ろふ乃石乃火[illegible]
清く家たる祖ハあり又和
列よ秋津洲をけろふ乃小
野とハ和ふを一流二乃し
東西とハ和ふ和も国洲
ろへわふ[illegible]
も[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

それハ為四生類ようす

數巻火 數巻火ハ

今ハ火ハ巻ハ乃事し

神樂 今ハ神樂連ハ一

句の物語れし能ハ

里神楽山神楽ハ神楽ハ神楽

今ハ今ハ今ハ神楽ハ

乃事ハ為ハ色ハ

ハ事ハ物ハ里

ハ物ハ物ハ物ハ

物ハ物ハ物ハ神楽の名今一

ハ物ハ物ハ神楽

ハ物ハ物ハ物ハ句ハ

し神楽ハ物ハ二乃門

ハ事ハ乃字日乃字

ハ物ハ物ハ物ハ

冠 連ハ一句御ハ冠ハ

ハ乃事ハ冠ハ

ハ物ハ物ハ今一句ハ

冠ハ物ハ物ハ利生ハ

ハ物ハ物ハ物ハ句ハ

ハ物ハ物ハ物ハ

ハ物ハ物ハ二句ハ門乃ハ

冠ハ物ハ三句ハ

ハ物ハ物ハ物ハ

もハ物ハ物ハ冠ハ衣

數ハ物ハ冠ハ物ハ

物ハ物ハ物ハ巾ハ

付くハ[illegible]
しハ[illegible]
みわら寸

神楽の名残

淮繪仕
秋乃雪

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

門よ　[illegible]

[illegible]

門ホ　[illegible]

門へ　一座よいくさとらふ事

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

片歌

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

かう

[illegible]

[illegible]

かうの花

[illegible]

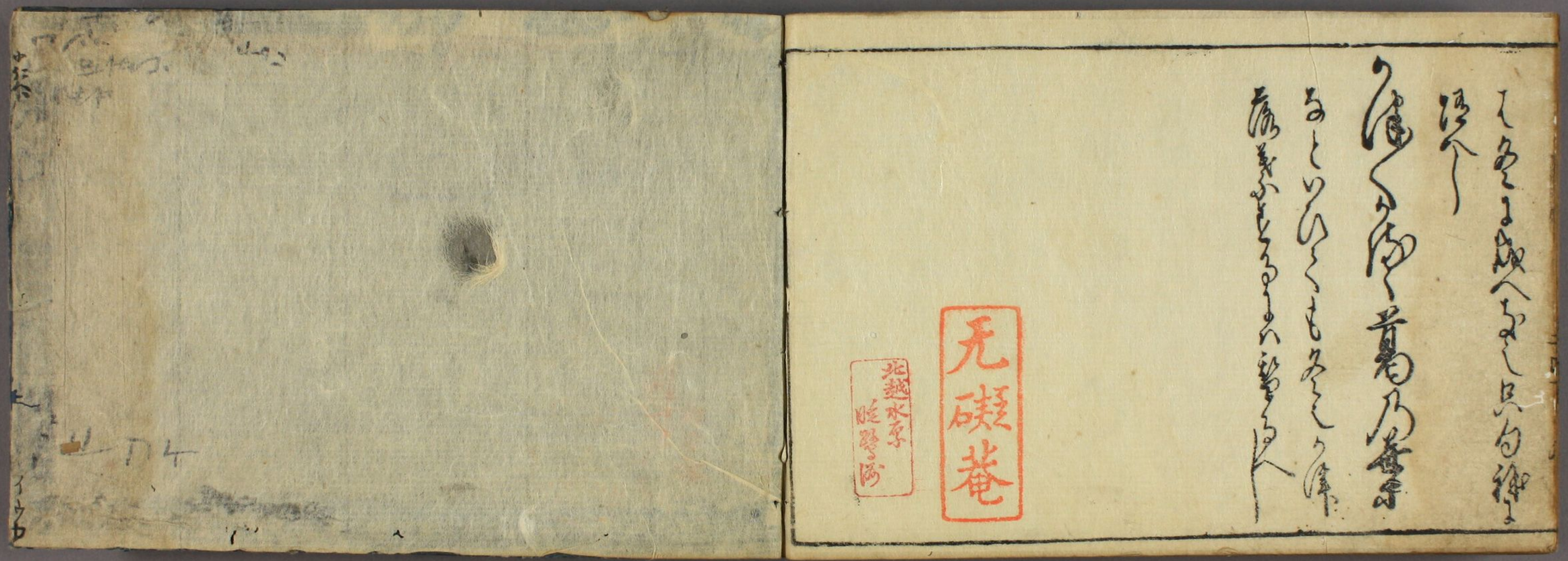
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]



无礙菴
北越水原
睦琴閣